

みえ高校生県議会 概要（令和4年8月22日開催） ※総務地域連携デジタル社会推進常任委員会関係分

学校名	質問項目	答弁の概要	答弁者
四日市南高等学校	<p>『三重県への移住者増加と地域活性化について』</p> <p>① 観光が三重県への移住のきっかけになったという、県外からの移住者はどの程度いると把握されているか。</p> <p>② 私たちの提案に対してご意見を聞かせてほしい。</p> <p>イ) 「観光客を呼び込むこと」</p> <p>ロ) 「リピーターを増やすこと」、「今ある交通網の輸送改善」</p> <p>ハ) 「実際に移住してもらうこと」、「空き家」だけでなく「空き店舗」の情報も提供すること、首都圏以外からの移住者</p>	<p>① 県および市町の施策を利用した県外からの移住者数は年々増加傾向にあり、令和3年度は541人です。移住のきっかけは、「地方で働きたい、田舎で暮らしたい」とした割合が35.2%と最も多く、「観光等で訪れて好きになった地域で暮らしたい」とした割合はコロナの影響もあって3.1%と留まっておりますけれども、例年、7%前後となっておりますので、自然をはじめとする三重の魅力により移住されている方々が多いということが伺えます。</p> <p>②</p> <p>イ) 三重県では、観光資源が豊富であることから、観光を通じて三重の魅力を知っていただくということは、非常に重要な観点だと思っております。三重県の移住交流の専用サイト「ええとこやんか三重」に加えて比較的若い世代の移住者が多いということもありますので、SNSも有効に活用し、県内全市町の移住関連情報、三重の魅力情報も発信を行ってまいります。</p> <p>ロ) 「リピーターを増やすこと」については、今後も様々な体験プログラムを推進していくように全力を尽くします。鉄道やバスなどの地域公共交通は、地域住民の暮らしを支える必要不可欠な社会基盤でありますので、各交通事業者の経営状況は厳しい状況ではありますが、引き続き移動手段の確保に向けて取り組んでまいります。</p> <p>ハ) 「実際に移住してもらうこと」について、商業の活性化を地域のにぎわい創出につなげることは、非常に重要な視点です。既に取り組まれている空</p>	石垣委員長

	<p>にも同様の支援金制度を行うこと</p>	<p>き店舗情報もありますので、市町と連携して情報発信に努めていきます。移住支援金制度についても全国的にもなかなか活用が進んでいない状況ではありますけれど、首都圏に限定する必要がないのではとのご指摘も皆様方の大きなご意見、視点であると考えております。この制度以外にも、県や各市町においては、それぞれ地域の特色を活かした、そういった支援制度もありますので、移住者のニーズにしっかりと応えられるような情報提供を、移住相談会、ホームページなどでも周知を図っていきたいと考えております。</p> <p>移住先として三重県が選ばれるためには、観光によってたくさんの人に来ていただくという視点を踏まえながら、引き続き、三重の魅力の情報発信に努めていきたいと思っております。</p>	
--	------------------------	--	--